

雰囲気よく、明るく生活しよう

月曜日の朝、担任の先生からのメッセージ

最近、朝の会の時間帯に、教室に出向き、皆さんのクラスの様子や、活動の様子を参観させていただいています。2月18日(月)の朝、とても心がホッとする担任の先生のメッセージに触れる事ができました。「考査が終わって、良い結果、そうでない結果があるけれど、雰囲気よくみんなで生活しよう」という内容が黒板に書かれてありました。とてもすばらしいなあと思いました。このクラスでの朝の会の様子を見てみると、とても生徒が生き生きとしていて、月曜日の朝とは思えない明るい雰囲気でした。きっと、「様々な事で失敗しても大丈夫だよ。みんなで明るく生活していれば、きっとよい事があるから。」というような温かいメッセージなのだと思います。この日だけのものではなく、担任の先生からの心からの生徒への思いが表現されているのでしょうか。また、あるクラスに入ると、全員が立ち上がってあいさつしてくれました。(皆さんの活動の邪魔にならないようにしたいと思います。)このような雰囲気や環境は、これからも、生徒の皆さんと先生方で大切に育ててほしいと願います。

本校では、全市一斉に実施する「いじめ防止きずなキャンペーン」や各クラスでの教育相談、アンケート調査等で、様々な工夫をしていじめのない学校づくりを目指していますが、いじめがなくなっていくには、一人一人の意識の向上はもちろんですが、いじめに関する取り組みだけではなく、日常の活動の意義を理解して実践することによっても醸成されます。例えば、日々の学活や道徳、学校行事に対する取り組み、長プロへの参加、部活動での目標の共有や活動、授業のグループ学習やペア学習、等々。考えてみるとあらゆる活動が繋がりがあって「いじめのない環境づくり」が成されていくのだと思います。

昨日の昼休み、音楽室で「1、2年生の卒業に向けての合唱の練習」を見学しました。女子生徒たちがとても真剣に取り組んでいました。生徒がリーダーになって、先生の指示だけではない自主的で真剣な練習風景でした。すばらしいと思いますし、どこの学校でも同じような取り組みができるわけではありません。このような皆さんの自主的で真剣な取り組みがいじめのない環境づくりに役立っているのは間違いありません。

真剣に活動すれば、その中で、考え方のすれ違い等で傷つく場面はもちろんありますが、いじめとは異なるものでしょう。人が一緒に生活するうえでの軋轢は、年齢を重ねた大人でもあります。それでも悪意をもったいじめとは明らかに違うものであれば、折り合いをつけて、やがてわかり合っていくことができますし、そうしなければいけません。

正しい行為が認められる、自分の意見をきちんと表明できる、部活動で自分達の最高のパフォーマンスを発揮できる、修学旅行等の大きな行事を心から楽しむ事ができる、合唱の練習に真剣に打ち込める、ボランティア活動に楽しく参加できる、そして失敗しても大丈夫、このような日々を皆さんの努力と先生方の力で一緒に創り上げる事ができるならば、さらに充実した毎日が送ることができるでしょう。年度末が近づいてきました。同じ学級で生活する時間もあとわずかです。偶然出会った30数名ですが、偶然の出会いだからこそ、大切なものなのかもしれません。まだ時間はあります。友達の良さ、クラスの良さを認め合いながら、残りの日数を過ごしてほしいと思います。